

公益財団法人 船井情報科学振興財団  
2024 年度夏の交流会 in Cambridge

Dr. Matthias Dörrzapf (St. John's College)の講演内容レポート

文責：杉山優衣 (FOS'24)

Dörrzapf さんからは研究内容ではなく、主に Cambridge 大学の特徴や教育システムなどについて講演をしていただきました。Cambridge 大学は世界で 3 番目に古い大学で、100 人以上のノーベル賞受賞者や 200 人程度のオリンピック選手を輩出している名門校です。カレッジ制を採用している点が特徴的で、Cambridge 大学は 31 のカレッジから構成されており、学生は必ずいずれかのカレッジに所属しながら大学の授業を受けています。カレッジごとに独自の文化や伝統があり、学生間、そして教員も含めて親密なコミュニティを形成しています。彼らは一緒に授業を受けるだけでなく、課外活動や日常生活も含めて互いに学びあい、高めあっています。Cambridge 大学の教育方針として、学生が主導的に考え議論する力を養うことを重視しており、これは入学試験の基準や授業の進め方にも反映されています。St John's College はカレッジの一つで、1511 年に設立されました。「フォーマルホール (Formal Hall)」と呼ばれるフォーマルな夕食会の習慣を持ち、この夕食会にはドレスコード (ガウン) があり、伝統的な雰囲気の中で食事を楽しまます。